

関東龍門会報

〔〈旧制〉加治木中・加治木高女・加治木高校同窓会〕

発行人

会長 海江田 怜

発行先 関東龍門会 事務局

HP www.ryumonkai.com/

幹事長 前原 澄雄

東京都品川区西五反田 5-16-2

<メールアドレス>

life-is-shadow@trad.ocn.ne.jp

会長あいさつ



関東龍門会会長
海江田 怜
(高・昭40年卒)

母校の活躍に期待

同窓会の皆様にはいかががお過ごしでしょうか。
昨年来、中東におきましては「イスラム国」が台頭し無法の限りを尽くしております。誠に頭の痛い状況です。良識ある国々が国際的に協力し一刻も早い解決が望まれます。さて、私事で恐縮ですが、前にも申し述べましたように67歳になつて俳句の勉強を始めた。そこで出会ったのが季語でした。季語はまさに美しい日本語の宝庫です。新年から初春にかけての季語で「良いな」と、私の視線に触れる言葉を上げますと、初明り、人日、冬銀河、凍蝶、雪明り、風花、寒紅、日脚伸ぶ、春隣、春時雨、冴返る、等々。どうです、皆様も俳句をやってみたいと思いませんか。

私の購読している読売俳壇には選者が4名いますが、その中で矢島先生、宇多先生が80歳代です。加藤楸邨は88歳で世を去りましたが、楸邨の80歳代の俳句には、軽味の境地に達した沁みる句に出会うことができます。俳句は年齢に関わらずいつまでも楽しむことが出来、誠に良い趣味に出会ったものと思っております。
話は変わりますが、私の加高同期生は卒業から50年が経ちました。昨年10月に3年生時のクラス会を鹿児島で行いました。卒業時55名のうち、参加者29名、欠席者24名、物故者2名でした。卒業アルバムの写真の名札にして首からぶら下げての懇親会は大いに盛り上がりました。翌日は暫くぶり

母校を訪ねて、関東龍門会総会にご出席いただいている校長先生にご挨拶だけをするつもりが、わざわざ同窓会館を案内していただきました。立派な同窓会館でした。生憎生徒たちは授業中で、弓道部の生徒数名と擦れ違っただけでしたが、評判どおり、気持ちの良い挨拶を受けました。文武両道の実践を垣間見る思いでした。

高校と言えば、昨年の高校球児の話の一つ。それは夏の甲子園県大会での出来事でした。石川県大会決勝戦です。新聞に出ていましたのでまだ記憶に留めていらっしやる方も多いと思います。星陵高校対小松大谷高校の試合でした。後攻めの星陵高校は相手投手に抑えられヒットわずか2本、スコア8対0、絶体絶命です。9回裏の攻撃のとき林監督は、「そうだ、笑おう」と皆に声かけました。実は甲子園を目指して皆で考えた合言葉は「必勝をもじった、必笑だったのですが、点が取れない焦りでついつい忘れてしまっていたのでした。土壇場で笑いを取り戻した星陵ナインは四球、連打で得点を重ね、相手エースをマウンドから引き摺り下ろし、ついに打者13人の猛攻でサヨナラ勝ちになったのでした。もちろん只笑えば良いというものではありません。日ごろの訓練、鍛練が無ければ、要するに実力が無ければなりません。が、その実力を引っ張り出すのは、青ざめて唇をかみ締めた必死の力ではなく、リラククスして試合を楽しむ心だったということでしょうか。
わが母校も昨年の秋季九州県予選でベスト4まで駒を進めました。母校は頑張っています。今年も期待して応援したいと思います。
今年も例年通り、下記総会を開催いたします。是非皆様お誘いあわせのうえご参加下さい。有意義かつ楽しい会にするよう工夫を凝らしてお待ちしております。

平成27年度の総会(懇親会)は6月6日(土) 会場:三州倶楽部

会員の皆様へ

平成27年度

関東龍門会 総会(懇親会)開催案内

標記 総会(懇親会)を左記により開催いたします。かつて加中、加高女、加高に卒んだ卒業生が半年に關係なく、年に一度、一堂に集まって懇談・交流を図るものです。どうぞ皆様お誘い合せの上、気楽にご参加ください。多数の方のご来会をお待ちしております。

〔日時〕平成27年6月6日(土) 午後12時30分〜 受付

〔場 所〕三州倶楽部(品川区上大崎1-20-27) TEL 03-3447-6776

〔アクセス〕JR目黒駅東口下車、目黒通りを白金迎賓館の方へ約200m進み高速度道路の交差点を右折、3本目の通りを左折して突き当りです。(約10分)

〔会 費〕男性 6000円 女性 5000円

〔学 生〕無 料

★パーティでは懐かしの味・辛焼酎、加治木饅頭、ツケアゲ等を用意しています。

また『郷土料理食事券』や郷土特製グッズ等が当たる楽しい抽選会も行います。同期生、同じ部活のお仲間等をお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

(お願い)

案内状に同封した返信用ハガキで出席・欠席に関わらず、5月22日(金)までに、ご返信をくださるようお願いいたします。なお、ご出席者で、今年「喜寿」を迎えられる方(昭和13年1月1日から12月31日生まれ)には龍門会オリジナルのお祝品を会場でお贈りいたします。受付でお申し出ください。





加高生、原発に高い関心 アンケートや現地視察を実施

日ごろ首都圏のメディアに鹿児島県のニュースが登場することは多くありませんが、昨年からは今年にかけては、新聞やテレビで県名を頻繁に見ることになりました。川内原発の再稼働を地元議会や県知事が容認したというニュースが流れたからです。

川内原発から30キロ圏内のわが母校の後輩たちもこのニュースには敏感に反応しています。校内紙「加高新聞」ではいち早くアンケートを実施し、その結果を大きく取り上げました。生徒たちの意見はグラフのとおり、やや「再稼働反対」が多くなっています。最も多いのは「どちらともいえない」で、生徒たちもいろいろ考え悩んでいる様子がうかがえます。

アンケートだけではありません。新聞委員会と国際親善部の生徒たち30名は川内原発を現地に訪れ、そのルポ記事を新聞に掲載しています。厳重な警備の中で入場前に生徒手帳で念入りに本人確認されたことや、実際に見た原子炉(実物大模型)や建物群の巨大さ、安全対策など若者の視点から見たさまざまな記事が同紙に掲載されています。

原子力発電に関するアンケート

賛成	28%	反対	31%	どちらともいえない	41%
知っている			知らない		
63%			37%		

川内原発の再稼働に関して
川内原発の再稼働の動きについて

進学校でありながら、受験勉強に偏ることなく、幅広く社会にも関心を持ち続ける健全な若者が母校で育っている様子が見えます。

“あの人”を訪ねて

教育畑で60年!
関東龍門会・元会長

関東龍門会の幹事長・副会長・会長を25年も歴任。また、同期会(てんがらもん会)のまとめ役を60数年に亘って務めている。

酒匂 昭男さん (昭和26年卒・高3回生)



昭和26年加治木高校を卒業、東京理科大学化学科に進み昭和30年卒業。教職の道に進み昭和59年までの29年間を東京都内の公立中学に勤務。その後、大学時代の同期生伊尻政一氏(芝浦工業大付属中・高校の学校長(笠沙高出身))からの誘いを受け昭和59年からの17年間、同中・高校の教頭を務めた。そこを退職後、平成13年から進学研究会の編集顧問として中学理科の評価問題の作成等に携り現在に至る。その間、大学同窓会役員として現在も活躍中。

◆長年、教職界に居られましたか そこを目指した動機、経緯は：

加中・加高時代の恩師、故加世田先生と大時代(に)教育実習で受けた目黒区立七中の故橋本先生との出会いが教師を志した要因となっている。牧園分校に通学しているとき、何かにつけて加世田先生にお世話になった。先生が断然好きになり先生の出身校旧物理学校(現・東京理科大)に進学したいと思うようになった。運よく理科大に入学できたが勉学に苦勞し、卒業は簡単ではなかった。

◆教育指導で最も心掛けたことは 何でしょうか：

「考える」「思いやる」「実践する」生徒の育成に日々努めてきた。その教え子たちから年に何回か同期会に招待される。現役でバリバリ仕事をしており、それぞれ立派に大成した姿を見るにつけ嬉しく、教師であってよかったとつくづく思う。今、傘寿のときに古希の教え子たちから記念として頂いた額が自室に飾ってある。「先生ありがとう...。いつまでもお元気で...」などの寄せ書きと、中学時代の懐かしい写真が入っている。

また、理科の教員として、教材開発や実験方法の工夫など、多くの先生方と共同研究を行った。そのとき理科の実験集など教師や生徒向けの冊子を執筆したことが現在の仕事に生きている。

◆「関東龍門会」会長として 取り組んだことは：

会報の発行、総会の出席者や同好会の参加者数を増やすために役員の方々と一緒に努力し微力ながらも会を盛り上げてきたつもりである。具体的には、総会パティで先輩の講演会を開いたり、ときにはラジオでやっていた「出前寄席」を頼んだりした。また、同好会活動として「釣りの部」を結成、千葉県の内房の大貫で行った釣りの部の参加者は8人であったがメバル釣りを楽しんだ。またその他にも「結婚相談の部」を企画し「花嫁、花婿を求む」の呼びかけを行ったことがある。それには当時の副会長・彦野さん(高女昭17卒)を中心にした女性の役員の方々が絶大な協力をしてくれ誠意をもって努めて下さった。その結果数組のカップルが誕生したと聞いている。



◆「てんがらもん会」の結びつきの強さは：

私たちが高3期生の出会いは、昭和20年、戦争の激しい最中であった。校舎を焼かれ多くの仲間を失った空襲、中学3年と高校3年間を合わせて6年間、互いに助け合い励まし合って友情を深めてきた。このことが現在まで続いてきた絆の強さだと思っている。26年3月、進学に就職に夢と希望を抱いて多くの仲間が上京した。その頃からお互い連絡を取り合い、現況を語るのが何より楽しかった。昭和30年に最初の集い(男性だけ)を五反田で行った。41年、伊藤康夫氏、古江孝生氏、鈴木幸子さん(旧姓森)たちの協力で男女一緒にの会をもつことになった。併学だった男女が15年ぶりに共学になり、今までにない和やかな会になった。このときに会を「てんがらもん会」と命名した。

現在では、男18人、女3人の方が亡くなり大分寂しくなったが、年一回の総会、男子だけは毎月一回有志が集まって、お互いに元気をもたらしている。最低米寿までは会を継続したいと思っている。

◆現在の会活動をどう思いますか：
現在、当会は若返った組織のもとに、総会も多数の参加者があり、同好会も囲碁、ゴルフの部が定着、詩吟の会が新しく発足するなど、すばらしく発展している状況を喜び感謝しています。会員の皆さんも、今後ともよい企画があれば是非行って欲しい。

◆在校生諸君に望むことは：

校庭に建立された若人の像の碑文の末尾に「...氣力と巾のある人間となれ。」と刻まれている。多くの先輩たちは、碑文のような若人をめざして努めてきた。後輩の諸君も先輩の意思を受け継ぎ、大きく成長してほしい。このためにも「今を大切に」。

トピックス

甲子園出場が目前で:

21世紀枠で加高野球部が県から推薦... ことしの選抜高校野球は敦賀気比高校の優勝で幕を閉じたが、21世紀枠で出場を果たした県立の松山東や桐蔭といった進学校の活躍も注目を集めました。ところでこの「21世紀枠」でわが加高木高校野球部も甲子園行きの切符を手にする寸前までいったことをご存知でしたか。

昨年秋の九州高校野球県予選、加高木高校は準々決勝まで駒を進めました。そしてむかえた10月4日の準決勝、相手は元巨人(現在日ハム)の木佐貫投手を先輩にもつ強豪川内高校。両校のエースの投げ合いで試合は1対1の延長戦へ。加高木は延長11回代打中村のタイムリーヒットで勝ち越し、その裏をエースの濱田がきつちりと締めて、7年ぶりにベスト4に進出したのです。

この活躍と日頃の学習や文化活動などが総合的に評価され、21世紀枠での県代表として県から推薦されました。結果的には甲子園出場は果たせませんでした。このこと自体大変な名誉であり、後輩たちに拍手を送りたいと思います。

トピックス2

N響のアンサンブルに酔いしれる

多彩な催しの文化祭

加高の秋の文化祭は年々華やかさを増していますが、昨秋もさまざまな展示や講演、トークなどが行われ、にぎわいました。中でも「芸術鑑賞会」として、NHK交響楽団の首席トランペット奏者・関山幸弘氏をはじめとするブラスアンサンブルが招かれ、その卓越した演奏に日頃生演奏に接する機会の少ない生徒たちは圧倒されたようです。「すっかり五感を奪われた感じ」「別の世界へ連れて行かれた」などと感想をもらしています。

そして、これを機会にCDやスマホだけでなく、生の演奏を聴く機会を増やしたいという声も多く聞かれました。

会報発行 40号 記念企画 会員フレッシュ座談会

関東龍門会は どういう会であってほしい!

☆若手会員に意見を聞きました!

今号は会報発行40号目に当たります。そこでそれを記念して、26年度関東龍門会総会(6月7日開催)に出席してくれた若手会員3名の方(社会人1名、現役大学生2名)にお集まりいただき、当会の印象、最大の課題として語っている若手会員の在り方等について語ってもらいましたのでご紹介いたします。なお、スペースの関係でまとめの形式で報告させていただきます。

【出席者】



今村邦之さん 平7卒、57期、28歳 米国アラバマ州立大学ハンツビル校卒業、始良市出身。社会人。



仲充哲さん 平26卒、68期生、19才 東京農工大機械システム工学部在学中2年生、奄美大島出身



林拓真さん 平26卒、68期生、19才 東京工業大・工学部在学中2年生、加高木町出身

◆この会(関東龍門会)の存在を知っていましたか!

卒業式前にあった学校行事の『同窓会入会式』で関東にもあるというのは知っていましたが、今回出席して現実に確認しました。

◆総会に出席しようと思った動機は— 知っている先輩が声をかけてくれました。

◆出席してみても最も強く感じたことは— 自分の両親より年上と思われる方、祖父母と同じ年齢である方と思われる方が多く、余りこういう機会がないので圧倒されると同時に、加高の歴史と伝統を強く感じた。一方で、若い会員の姿が極端に少ないということも印象的でした。

◆(そこが当会も悩んでいるところだが...) 若手の参加を促進するには 何が必要だと思いますか—

総会の内容がよく言えばオーソドックス、言葉が代えれば旧態依然という感じで、若手が参加しようという気持を掻き立てるものがない。若い世代が遠慮なくモノを言える雰囲気もないな! と思いました。 また若いOBはこの会があることを知らない人が圧倒的に多い。まずは当会の存在をあらゆるルート、機会を通じてアピールすることが必要だと思います。同時に、総会・懇親会のコンテンツに若いセンスを投入することも必要ではないでしょうか。

◆具体的には

◆どんなことが考えられますか—

◆今、在学中の現役高校生に対し龍門会の存在をアピールする。 ◆一般の龍門会組織だけでなく若手による「〇〇龍門会」を立ち上げ、先輩プレッシャーのない、入りやすさ、行きやすい会合、場所を提供する。

◆社会経験豊かな立派な先輩が大勢居られるのでその知識・経験を活用しないのは勿体ない。 随時、出来れば定期的にその経験談等を聴く、あるいは会報等で発表してもらおう方法もあるのではないのでしょうか。それが、将来的には、先輩によるより良い人生案内、就職指導等にまで繋がれば良いと思う。

◆せっかくの機会ですので、自分の将来の展望をお聞かせください!

◆まずは、社会人である今村さんは— 米国の大学留学時代に自分が最も感じ、強く影響を受けたことは、失敗を恐れず行動実践して自ら切り拓いていくことです。失敗を恐れずトライしたことから学ぶものが多く、現在の自分の自信形成と仕事に繋がっていると思っています。

以前から、母校に対して役立てることが何かないかという想いをもっていたので、今後は118年の歴史を持つ加高の縦の繋がりを具体的な形(例えば、加高生インターンシップ等)にして、是非とも同窓会と協力しながら構築したいと考えています。

◆現在大学在学中のお二人は今後の学生生活と将来をどうしたいと思いますか—

まだ、2年(27年時点)に進級したばかりで具体的なイメージを語れませんが、今日先輩の行動力・決断力等に圧倒されながらも、これからは専門的知識の積み上げ、自ら精神的な支柱を形成していく必要があることを強く感じました。そのためには、学生生活だけの殻やマインドを引きずって社会が求める人材とかけ離れて苦労することが無いようにこれから充実させていきたい。今回良い機会を設けていただいたのでこれを機にもっと先輩の仕事経験等に多く接し、今までの横の繋がりに、関東龍門会のような先輩との縦の繋がりを加え、自分自身の幅を広げて将来に活かしていきたいと思っています。

「編集部」今回は、若手会員の考え、意見を聞く良い機会になりました。同時に、未だ20代という若さにも関わらず母校や先輩に対する思いの強いことを感じました。一方、今回出された関東龍門会への提言は具体化するには課題が多く時間かかりますが、一歩ずつでも実現に向けて取り組みたいと思います。有難うございました。

同窓生だより

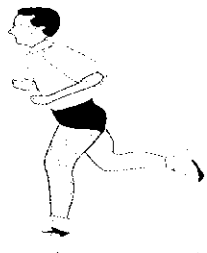
昨年の総会時「返信ハガキ・通信欄」から転載。そのため時期に1年のずれがあります。(平成26年度総会出席者には速報版を配布しました。)

◆妻病のため、家事一切担当、旅行もままならない状況です。小生84才、まあまあ元気なほうでしょうかね。御盛会を祈念します。
(中・昭22) 矢野貞徳(春日部市)

◆会報で兄、小城正の事が紹介されていましたので驚きました。私も実は昭和14年旧制中学2年から陸軍幼年学校に入り病気で1年延期しましたが、陸士59期生で戦後加治木高校3年に編入させて頂きました。(中・昭17)(高・昭24)の同窓生とお会い出来ればと思います。まだ仕事の都合で出席できません。御盛会をお祈り致します。
(高・昭24) 小城忠行(小平市)

◆一度は乗ってみたいと思ひ、昨年秋東京から新大阪乗換えて、鹿児島中央駅まで、九州新幹線を利用しました。快適でしたが、長時間の移動は老いの身には堪えませんでした。でも単人までの日豊本線の車窓風景は懐かしいでした。
(高・昭24) 浜田哲夫(武蔵野市)

◆体調維持に、毎日ウォーキングを1時間しています。(高・昭25) 小濱嘉郎(埼玉県入間郡)



◆老化は進むもの、何とか頑張っています。(高・昭25) 小濱嘉郎(埼玉県入間郡)

◆今年も会報を楽しみに読ませて頂きました。その度に役員の皆様へ感謝いたしております。私は、相変らず加齢症とストレスに負けないようにしているつもりですが、水分補給に慌てる事が多いです。皆様も気候の変化が激しいのでくれぐれもお体に気を付けて頑張ってくださいませ。会報の中で同期の方の名前を見るだけでも元気が出ます。
(高・昭25) 高橋いち子(旧姓・田中)(小美玉市)

◆1932年製メイドインジャパン車は金鶏輝く端麗なる桃源郷を目指して国道「紀元二千六百」号線を走る。広大な大東連園で暴風ABC Dに抵抗、満身創痍で抜け出すと舗装された高速道路「第九条」

号線を快走し八十路(82)峠をいま越えました。桃源郷の入り口には「東京五輪」の看板、「中韓の瀬戸」で逆風突破の要あり。ペーサーメーカーで捕強したエンジンの寿命は余すところ凡そ4年、潤滑油なる血液は配管漏れの状態、果たして何時まで走れるやら? ケ・セラ・セラ。先の事は判らない。此れが人生。
(高・昭26) 今吉孝夫(さいたま市)

◆裸にて生まれてきたに何不足? 日本人は楽をしよう、贅沢をしよう、少し我慢が必要でしょう。独裁も衆愚政治も民泣かす。一番まともなのは名もない庶民でしょうか。大学を出ても一番大事なことは学ばなかった人が多すぎますね。
(高・昭27) 窪田正視(川崎市)

◆もう80歳となりましたが、今年もジャパンマスタースの北海道大会で400m自由形と1500m自由形を泳ぎました。ここ数年間毎年今度が1500m泳ぐのは最後にしようと思ひながらも、Japan Masters Swim Meet



の時期になると体の中のどこかに住みついている「水泳の虫」(?)が動き出して泳いでいます。右記の2種目とも80歳以上では独泳でした。
(高・昭27) 新村敏郎(千歳市)

◆間もなく81才ですが、健康保持のために、毎朝6時半ごろから1時間5000歩を目標に歩いています。
(高・昭27) 吉川悦郎(大田区)

◆昨年総会に参加し、ジャンケンで「上野・水月ホテル外荘」の食事券を頂きました。9月に夕食を予約し、家族4人で行きました。天然温泉の大石風呂「福の湯」で優雅な気持ち味わい、お食事処へ、なんとこの日は希なお振袖さん(東京の言い方) (京都では舞妓さん) が来て下さいました。高三の孫は並んでスナップ。大変素敵な食事会になりました。有難うございました。
(高・昭27) 中村洋子(旧姓・中山)(板橋区)

◆昭和28年卒、高5期は、高校1期の入学生です。小学校へ入る時、国民学校となり、中学へ入る時、新制中学となり、高校へ入る時、新制高校となった学制改革の申し子みたいな世代です。そして今年傘寿を迎えます。よくもここまで生きてきたものだと思ひますが、傘寿の集いを東京で10月28日に開催します。同期の集いもそろそろ最後だろうと、今全国から参加の申し込みが続々舞い込んでいます。
(高・昭28) 鶴田康(川崎市)

◆お陰様で元気で趣味(ダンス、プール)を楽しんでいます。
(高・昭29) 小濱玲子(旧姓・城)(埼玉県入間郡)

◆吉満肇氏の「知られざる太平洋戦記」を読み、深い感銘を受けた。国の為に殉じられた上野府宣紀・小坂正の両氏に対して、崇敬の誠を捧げる者である。
(高・昭30) 園田恒明(韮崎市)

◆吟の同好会に入れて頂きました。全くの素人ながら諸先輩方に支えられて週一の稽古を楽しんでいます。日頃は先輩方の吟は勿論ですがそのお元氣さには圧倒されています。これは吟の効用ではないかとも思っています。皆さん、今のお元氣さを保持されるためにも、この吟詠の輪に加わりませんか。大歓迎します。
(高・昭30) 長谷場純一(横浜市)

◆高校8期は、今年(平成26年)の11月に最後の同窓会を城山で開催する。元氣なら出席したいと思つている。その往復のいすれかで、九州新幹線に乗つてみたいと考えている。私が東京に初めて来たのが、卒業の昭和31年の春であった。当時はまだ特急はなく、急行で、鹿児島駅を夕方に出発すると、翌日は一日中汽車の中であった。そして、次の日の早朝に東京駅に着くのであった。実に29時間を要した。九州新幹線、山陽新幹線、東海道新幹線と乗つてくると、7時間程度のような。高校を卒業してから半世紀を過ぎたが、まさに今昔の思い出である。尤も、今は飛行機を使うと、もっと安く、早いのだ。
(高・昭31) 大迫俊正(千葉市)

◆残り少なくなった人生、楽しく写真撮影に出かけています。東京オリンピックまで頑張るぞ!
(高・昭31) 杉田脩(茨城県鹿嶋市)

◆旧臘7日、急性心筋梗塞で倒れ、ステントを留置されて命拾いをしました。初めての入院で勉強になりました。今年7回目の年男となり、何とか頑張っています。やはり、健康第一ですね。
(中・昭21) 野中隆一郎(茅ヶ崎市)

◆馬蹄を重ね、八十路で午歩の運びを続けております。「伝統と歴史を誇る「関東龍門会」の運営に日夜腐心されている役員諸兄姉に満腔の敬意を表し会の益々の発展を祈念申し上げます。
(中・昭20) 高橋渉(江東区)

◆元気で変わりなく過ごして居ります。便り嬉しく拝見しました。残念ですが遠出が出来ませんので御盛会を祈ります。同窓会だよりに自分の名前がありまして活字にして頂いて大変嬉しい事でした。ありがとうございます。遠く始良市佐田の友達からお便りを頂き恐縮したり、喜んで。益々活躍して下さい。(女・昭19) 吉留和子(旧姓・市米)(町田市)

◆年を取って一人で行う事が出来ませんので申し訳なく存じます。御盛会を御祈り申し上げて居ります。(女・昭17) 上村米(旧姓・園田)(世田谷区)

◆92歳の年齢になりボケないで頑張つて居ります。足腰が悪く参加出来ません。残念です。
(中・昭15) 橋本藤任(旧姓・久松)(船橋市)

◆39号の会報で、私の学友の太平洋戦争中の活躍を龍門会の皆さんに紹介いただき、ありがとうございます。御遺族の皆さん、学友の皆さんは大変な喜び感動でした。海江田会長、ほか皆さんのご厚意、ご心労に、深く感謝しております。総会の盛会を想像しながら、関東龍門会の益々の発展を遠くから応援しています。
(中・昭13) 吉満肇(横浜市)

◆卒業して58年の歳月が流れました。関東龍門会に属して喜寿を迎えるとは信じ難くも慶事です。毎年一回の総会に大先輩方と一堂に会して校歌を歌うと涙腺が緩みて余りあります。懐かしんでも賑やかさを是非一緒に体感しようじゃありませんか。
(高・昭31) 新村菊雄(多摩市)

◆御案内ありがとうございます。毎年、喜寿のお祝いをしてもらう年齢の同窓(期)生は、ふだんより多数の参加者があり、自分たちの学年も指折り数えて待っていました。やっとその年になり、会長名で特別のお誘いのハガキを頂き感謝！
(高・昭31) 堀之内亨(町田市)

◆毎年どこかへ出掛けていますが今年(2014年)は5月「フィンランドとバルト三国」のツアーにひとり参加します。10泊となると夫や友人ともスケジュールの調整が付きません。ボランティアはじめあらゆることから解放され元気に楽しんでまいります。仕事を退いて16年・76歳まだまだ多忙な婆さんです！
(高・昭31) 藤井しげ子(旧姓・小出水)(春日部市)

◆老境に入り、ゆつくり過ごしてあります。遠出も出来なくなりまして。皆々様、お体を大切に
(高・昭31) 山下スミエ(旧姓・児玉)(埼玉県入間郡)



◆一昨年11月すい臓近くに3個、肺に1個、合計4個の腫瘍が見つかり、現在国立がんセンターで毎月一週間入院して抗がん剤治療を受けています。薬の副作用で足が不自由になり、苦勞しています。
(高・昭31) 米永正博(三郷市)

◆喜寿の記念品は大事に使わせて頂きます。ゴルフではいつも川井田さんにお世話になっています。スコアは年々ダウンしてゆきますが、健康はアップしてゆきようです。
(高・昭31) 武田憲昭(江戸川区)

◆僅かな菜園を楽しんでいます。喜寿を迎えることが出来ました。
(高・昭31) 今村三千代(旧姓・梅木)(鹿嶋市)

◆自営業、元気で働いています。多摩墓地参道で46年間、皆様楽しみにそばを食べに来てください。この店で初めてそばが食べられる様になったと言われました。
(高・昭32) 長澤キヨ子(旧姓・扇蘭)(府中市)

◆今年は喜寿。同級会で霧島・人吉旅行を企画してくれましたので帰郷します。
(高・昭32) 石野忠(東久留米市)

◆2012年12月12日、加高の「先輩が後輩に送る龍門講座」に講師として呼ばれ話をしました。タイトルは「グローバル化に対応した学生のあり方」で、学生は真剣に聞いてくれました。少しはお役に立てたかなと思っています。
(高・昭32) 市来研志(千葉市)

◆やっぱり気になる前期・後期？年寄りも若者もキバイモンソ！目下、元氣中。感謝申し上げます。皆々様のご健勝をお祈り致します。
(高・昭34) 上西康生(川口市)

◆公の仕事は全て終了。目下、ボランティア・ガイドとして英語圏の外国人相手に首都圏を中心に観光ガイドをしています。それに備えて朝夕のウォーキングに精を出しています。
(高・昭34) 松田勝(あきる野市)

◆所属団体8件、会長職3件、元氣で忙しく活動しています。
(高・昭34) 満田泰啓(川越市)

◆季節の変わり目か、年齢の所以か、あちこち痛いところが出ていますが、プールに行ったりして、体だけは動かす様にしています。動けなくなると、会に出席出来なくなるのも淋しいですから。ゴルフコンペも楽しみにしています。まずは健康第一です。
(高・昭34) 別府睦雄(川崎市)

◆歳を重ねて暇かと思いきや、孫の相手、コーラスの

発表会、クラス会の準備・・・加えて、転ばぬよう、振り込め詐欺に注意、通院・・・予定を忘れぬよう、頭の中は満タンです。
(高・昭36) 坂口洋子(旧姓・岡元)(横浜市)

◆5月18日渋谷でおはら祭がありましたので見物に行ってきました。楽しく踊る人達に元氣をもらいました。来年も見に行きたいです。加高卒業生の人も踊っていました。
(高・昭36) 高橋ミチ子(旧姓・福水)(春日部市)

◆会報39号「あの人を訪ねて」の記事中で吉満氏が「この豊かで平和な時代もこうした先輩達の上で成り立っていることを覚えておいて下さい。」とある。全くの同感であります。日本国は、なぜ大東亜戦争に踏み込まざるを得なかったのか、当時の国際情勢への理解も無いまま「あれは侵略戦争だ」と一言で片付けられるのでしょうか。現在5月の大型連休中ですが、報道によると何の祝日も判らないまま、連休を謳歌している人々が多い現状等、歴史への関心が薄い世代が増えている。こんな状況で世界に太刀打ち出来るだろうかと心配になります。
(高・昭37) 日高昭(神奈川県三浦郡)

◆平成26年のGWに5泊6日で帰加し、連日、連夜、会社OB会、加中同友会、加高3年時クラス会等、旧交を温めました。特に高校のクラスの中には卒業以来52年振りに再会した級友もいて学生時代に帰り若返ったようでした。今後の余生に活力源をもらい又の再会を約束しました。やはり故郷は、しばし帰るところですね。晴耕雨読に励む人、ゴルフ、釣りに、家庭菜園、盆栽にサウナ温泉三昧の人々。皆さん益々元氣でした。
(高・昭37) 藤島義行(旧姓・増田)(藤沢市)

◆今年こそは出席させて戴き、総会会場にて願わくば松原五夫(昭38)・梶江(昭39)ご夫妻にお目にかかって積もる話を花を咲かせたいと思っております。しかし残念ながら、4月術後、私の体調いまいちのため、お誘いを断念し、欠席のハガキを出しました。もしご兩名ご出席されたら、どうかよろしくお伝え頂きたく、御盛會をお祈り致します。
(高・昭37) 米増洋昭(旧姓・永倉)(横浜市)

◆古希で帰省して以来鹿児島へ行っていないませんが、ニュース、新聞でふるさととの出来事を伝えていると懐かしくも思っています。元氣に過ごしています。これからも健康に過ごせるよう努力していきたいです。
(高・昭37) 花田敦子(旧姓・竹下)(三鷹市)

◆昨年末、上海より帰国しました。
(高・昭38) 新富征人(川崎市)

◆昨今、肥満気味なので、ウォーキングで体脂肪を減らすよう毎日2時間位歩いています。
(高・昭41) 三浦正義(横浜市)

◆11月26日5月18日「渋谷かごしまおはら祭り」に、初参加しました。龍門会の方も多勢参加されていて心強くも嬉しい限りでしたし、楽しかったです。思いがけず、我がチーム「あいらびゅう連」が渋谷区長賞を頂きビックリ！来年は若い皆さんもどんどん参加して下さい。待っています。
(高・昭41) 坂口義子(旧姓・白尾)(文京区)

◆ここ10年程、親の介護等もあって、この時期、霧島市の実家に帰っています。田舎ではなつかしい友人と会っています。いつか参加出来たらと思っています。
(高・昭41) 春田修(大田区)

◆先輩である鶴ヶ嶺の井筒部屋から横綱が誕生し、すもろを見るのも楽しみにになりました。つきましては、井筒部屋に色紙でメッセージと記念品を差し上げたいかがでしょうか？
(高・昭41) 白浜礼子(旧姓・穂満)(品川区)



◆定年退職6年後の今春は、再々の新天地で講師の職を賜り、新分野の職務に悪戦苦闘の今日です。疲れが抜け切れないのは不慣れな仕事のせいと気持ちだけ奮起中です。3月に法事で帰郷しました。いつも元氣をもらえる故郷の空、空間です。
(高・昭42) 藤井豊幸(さいたま市)

◆林住期の今、週2〜3回のジム通い、月2回程度のゴルフ、3グループ程の同窓会のお手伝いをしておりまます。もう仕事では使えない心・体になってしまいました。(高・昭42) 國生幸一(川口市)

◆茨城、千葉に住んでいた2人の妹が次々に鹿児島に戻って居を構えました。実家の母を支えてくれます。夏には埼玉に住んでいたもう一人の妹も鹿児島に。今年の夏は65歳記念の同窓会がお盆に開かれるようです。お盆に帰省するのを楽しみにしています。(高・昭43) 大久保含子(甲府市)

◆父母の介護の為に、1〜2ヶ月に1回帰省しています。(高・昭43) 永元幸雄(埼玉県川越市)

◆10年程前に、仕事と家庭に加えて趣味となったゴルフで、先日、初めてのハーフ30台を達成できました。(高・昭43) 勝山達志(旧姓・田畑)(松戸市)

◆ここ4〜5年、年2回の帰省を続けています。再々雇用で東京駅の改修工事に従事しています。(高・昭44) 岩井隆一(旧姓・福元)(文京区)

◆持病の定期検診と日時が重複しております。誠に残念ながら、今年は欠席とさせて頂きます。加治木まんじゅうを食べたかった・・・(高・昭45) 古江弘(千葉県君津市)

◆渋谷・鹿児島おはら祭に参加しました。渋谷でなぜおはら？渋谷と鹿児島は源平合戦の頃から縁があったのです。一度参加しませんか？楽しいですよ。(高・昭46) 橋口恒子(旧姓・山元)(江戸川区)

◆10年以上前から両親の手伝い、介護のため故郷と行き来していましたが、3月に夫が退職したのを機に鹿児島に引っ越しました。いつも案内を頂きながら出席出来ませんでした。遠く鹿児島の方より皆様のご健康とお幸せをお祈りしております。夫と介護を頑張ってます。(高・昭46) 森山せつ子(旧姓・大迫)(霧島市)

◆4ヶ月入院していましたが、復帰してきました。又、同期会で楽しく集まりましたよ。

連絡は090・2218・5384木佐木まで
(高・昭46) 木佐木学(川崎市)

◆昨年は遺暦の為同期会が、中、高、大学と目白押し？そして両方の母の介護で鹿児島と東京の行き来でこの会のハガキを出し忘れていて誠に失礼致しました。思っているうちにすぐケリを付けないと、もう忘却の彼方へと。しっかりと老人力がついてしまいい然然としているこの頃です。(高・昭47) 佐々木貞理子(旧姓・二天)(町田市)

◆昨年は中、高と2回の同窓会に参加しました。懐かしい顔と会えて楽しい時を過ごしました。レンタカーを借りて加治木の街を運転しましたが、加治木高校、柁城小辺りまでは行けましたが反土にあった自分の家には道が分からなくなりいけませんでした。残念！(高・昭47) 米倉道代(旧姓・郡山)(江戸川区)

◆足柄山の麓で中学生と楽しく教育活動に頑張っています。(校長職4年目)
(高・昭49) 中村俊文(小田原市)

◆諸事情により関東龍門会にも貢献出来ませんでした事、お詫び申し上げます。私こと5月に故郷鹿児島にUターンすることになりました。義父母と共に田んぼ、野菜づくりにも励む事になります。皆様お元気でお過ごし下さいませ。
(高・昭50) 松山千代子(旧姓・池平)(霧島市)



◆隼人に帰り、親に農業を習います。余力が出来たらこれまでの経験を活かして地元貢献に尽力する所存です。
(高・昭50) 松山瑞穂(霧島市)

◆実母は溝辺で一人暮らしです。82歳で今のところグランドゴルフ、カラオケ等に忙しく元気です。なかなか帰省出来ずもっぱら電話で声を聴いて安心しています。「加治木まんじゅう」ってまだ売っているのでしょうか？
(高・昭52) 赤津まゆみ(旧姓・諏訪)(所沢市)

◆卒業以来、初めて参加させて頂きます。3年前まで父の介護に年に3、4回帰省していましたが、亡くなった後は鹿児島が遠くなってしまいました。今回静岡の友人と参加致します。
(高・昭52) 堀内山美子(旧姓・小野)(さいたま市)

◆2014年3月から大阪勤務となりました。
(高・昭52) 山崎幸一(柏市)

◆年に二回は帰省しています。高校の近くを通るとつい目がいってしまいます。主人が早期退職し記念にハワイ島のマウナケアに登ってきました。日本の天体望遠鏡「すばる」があり、すばらしい星空で感動しました。
(高・昭52) 多田香代子(旧姓・渋谷)(横浜市)

◆関東龍門会の年代を超えた先輩方との交流と79年卒加治木高校関東地区同期会の開催による同級生との交流は、高校生活は僅か3年間であるが、卒業後35年が経ち、改めて伝統ある「加治木高校」を軸とした絆を感じます。これからは加治木高校を「縁」にした出合いを大切にしたいと思います。
(高・昭54) 大岩根正浩(綾瀬市)

◆今まで関東龍門会の存在を知りませんでした。ある郷土の会合で知りました。今後は可能な限り参加したいと思えます。今回は所用で不参加ですがよろしくお願いします。
(高・昭54) 森木田利治(杉並区)

◆仕事の為、海外で働く為のビザ取得で卒業証明書が必要となり、加治木高校にお願いして書類を発行して頂きました。校長先生の御名前の所に懐かしい黒木先生の御名前が！「8時間も寝て日がけつされんか？」と「こんワロがウナ」と怒って下さった事が印象に残っています。お会いしたいです。
(高・昭56) 中馬千草(旧姓・安木)(市川市)

◆水戸勤務から2年で今度は京都勤務となりました。同窓会には出席したい！と思いつつも、又、繰り越しとなりまし。水戸勤務中、西辺先輩と知り合い、かつ、酒を飲む機会を得られたことは貴重でした。56年卒は、東京近辺の者がよく集まって一杯やっ

ています。この輪を広げていけたらと思っています。
(高・昭56) 米津浩幸(京都府宇治市)

◆「了承ください！」
この他に、「総会に出席できません」、「盛会を折ります」、「幹事に感謝します」等のメッセージを多数いただきましたが紙面の都合上割愛させていただきます。
毎回の会報を楽しみにしております。本厄の1年を何とか乗り切り、今年は気持ちを新たに頑張りたいです。
(高・平3) 西原真仁(大田区)

★話題が一杯！関東龍門会ホームページ

関東龍門会では、ホームページを開設し、母校や同窓会のニュース、会報バックナンバー等を掲載しています。会員の皆様ぜひアクセスしてみてください。
〔HPアドレス〕
www.tyunonkai.com


関東龍門会の事業について

平成27年度は下記の事業(活動)を計画しています。活動についてご提案、ご意見がありましたらTEL、メール、ホームページへの書き込み等でご連絡くださるようお願いいたします。

平成27年度事業計画

詩吟大会	3月30日(月)⇒(終了)
春季<囲碁大会>	5月14日(木)
春季<ゴルフコンペ>	5月中旬予定
総会・懇親会	6月6日(土)
秋季<ゴルフコンペ>	11月中旬予定
新年<囲碁大会>	28年1月中旬

同好会 ニュース



参加者大募集!
頭の体操、体の体操で健康な毎日を送りましょう!

ゴルフ同好会

ビギナーもベテランも是非のご参加を!

本年春季コンペは5月中旬開催予定!
ゴルフ同好会では毎年春と秋の2回コンペを開催しています。喜寿・傘寿の大家輩も参加、先輩・後輩の垣根を越えた楽しいコンペです。費用等も考慮し平日開催にしています。若手もぜひ参加して下さるようお待ちしております。
初参加の方も直ぐに打ち解けることができる会ですので今年が初めての方も是非ご参加下さい!



【2015年度 春季コンペ】
6月12日(金) 武蔵野ゴルフクラブにて開催
OUT 9時15分にスタート

ゴルフコンペ参加希望者は「総会案内」がき返信欄に参加の意思をご記入下さい。幹事に直接連絡いただいても結構です。

〈幹事〉川井田信雄(高・昭45)

TEL 043-250-4478

携帯 090-1692-4785

2014年度 春季大会(5月16日)成績

- 優勝 古江 弘 (高・昭45)
 - 準優勝 柚木園隆 (高・昭51)
 - 3位 城 正之 (高・昭26)
 - 4位 梅木 薫 (高・昭55)
 - 5位 海江田 伶 (高・昭40)
 - バスクロ 梅木 薫 (スコア80)
- 2014年度 秋季大会(11月14日)成績
- 優勝 海江田 伶 (高・昭40)
 - 準優勝 米倉道代 (高・昭47)
 - 3位 川井田信雄 (高・昭45)
 - 4位 城 正之 (高・昭26)
 - 5位 中村信二 (高・昭45)
 - バスクロ 海江田 伶 (スコア91)
 - 米倉道代 (スコア91)

囲碁同好会

「碁で脳の老化防止を!」

今年も原田名譽アマチュア本因坊を

お迎えして開催予定!

昨年の春季大会には前回と同様に原田実氏(高・昭29)を迎えて、又、三州倶楽部囲碁同好会から2名の方が特別参加され、総勢14名で賑やかに開催。今年の新年大会は久しぶりに森山義親氏(高・昭30)も元気な姿で参戦され、碁を楽しんでおられました。
〈幹事〉海江田 伶 (高・昭40)
TEL 0467-864-068

2015年 春季 囲碁同好会
5月14日(木) 三州クラブ会議室にて
午前10時から午後15時まで。

各回の参加者は以下のとおりです。

〈春季大会〉(2014年5月15日) 参加者14名

- 市来秀夫 初段(中・昭23)
 - 井ノ口弘 二段(高・昭41)
 - 今村 彬 五級(高・昭25)
 - 上原孝司 三段(高・昭29)
 - 内田 修 五段(高・昭30)
 - 海江田 伶 五段(高・昭40)
 - 久保 忠 初段(高・昭28)
 - 立山 正 四段(高・昭30)
 - 玉利勝正 五段(高・昭26)
 - 長野忠雄 八段(高・昭30)
 - 中山晴雄 七段(高・昭29)
 - 原田 実 名譽アマチュア本因坊(高・昭29)
 - 柏村栄八郎 八段(三州倶楽部)
 - 三宅征夫 二段(三州倶楽部)
- 〈新年大会〉(2015年1月24日) 参加者10名
- 井ノ口弘 二段(高・昭41)
 - 上原孝司 三段(高・昭29)
 - 内田 修 五段(高・昭30)
 - 大井澄佳 八段(中・昭21)
 - 海江田 伶 五段(高・昭40)
 - 立山 勲 四段(高・昭30)
 - 長野忠雄 八段(高・昭30)
 - 中山晴雄 七段(高・昭29)
 - 森山義親 二段(高・昭30)
 - 森田雄太郎 三段(三州倶楽部)



詩吟同好会

27年は3月30日(月)に

東京理科大・理窓倶楽部に会員7名にて開催。
〈幹事〉川口榮三(TEL)0421-734-2225

同期会 情報



このコーナーは卒年の同じ人のヨコの集まりのお知らせです。

加中44期(昭和20年4年生卒)

・平成27年11月13日(金)、場所・新宿区「北の海道」。来年は米寿最後の集りです。昭和の語り部として紙上同窓会にも参加し、僕達が体験した戦前戦後の実情を後輩に書き残しましょう!
〈幹事〉飛松謙哉・南川一郎・深川忠志・上蘭悟

加高3期(昭和26年卒)「てんがらもん会」

・有志(男性12、15人)の会を毎月1回実施、場所・東京理科大倶楽部、日時・1月28日(土)翌月については前月の会合で決める。
・てんがらもん総会12月5日(土)於、同倶楽部で実施(平成26年度は男性21人、女性9人の参加あり)。
・年1回か2回小旅行予定。 酒匂昭男

加高6期(昭和29年卒)

・昨年4月16日、17日に55名が参加して全体最後の同期会と観光を実施。16日午後母校に集合、記念撮影・同窓会会館で母校への記念品贈呈。その後会場の霧島ホテルへ移動し夕方から総会開始。懇親会では焼酎を酌み交わし和やかな時間を過ごした。翌17日は霧島神宮・高子穂牧場等を見物し、心に残る楽しい同期会であった。 榎谷惟光

加高7期(昭和30年卒)「東京さおう会」

・昨年11月8日の第34回を以て最終会とし、三々五々の集まりは別として、全員に声をかけての同期会は今年から無い予定。
(第34回東京さおう会)於銀座アスター御茶ノ水、男18名、女12名の合計30名。 長谷場純一

加高8期(昭和31年卒)

・昨年11月12日最後の同窓会と称し城山観光ホテルで82名が集まり最後の同窓会を惜しみつつ今後の健康を願う散会。関東で旗揚げの同好会は永久幹事が元気なうちは続ける予定。 杉田脩

加高9期(昭和32年卒)

・平成27年11月29日(日)11月30日(月)紅葉最盛中京都市近郊、嵯峨トロッコ、亀岡保津川下り、現時点参加希望者50 新村菊雄

加高10期(昭和33年卒)

・平成26年11月23日(日)関東33会、8名、有楽町の「桃香楼」で開催した。 松元和也

加高11期(昭和34年卒)

・34年卒の同期会は4月7日(火)に24名が参加して東京・丸の内・KITTEで開催。 満田泰啓

加高12期(昭和35年卒)「柁の木会」

・平成26年12月6日(土)第1土曜日に神田の「魚海船団」で実施 重信・松金・姫木
平成27年12月5日(土)予定。場所、時間は未定。
(幹事)山石元・清水・(文責)中山憲一郎

加高13期(昭和36年卒)

・毎年恒例で10月第3水曜日11時30分から新宿ボルト裏6階「三平」にて実施予定。 児玉重人
平成26年10月は23名参加。

加高16期(昭和39年卒)「39会」

①関東地区39会同窓会を、平成27年2月15日(日)に、亀戸天神社の梅まつりを散策後、鹿尾島での同窓会の下準備として亀戸駅北口の「東京大排档」で男性10名、女性4名が出席して開催。
②今年はいよいよ古希を迎え、「加高39会・古希同窓会」が平成27年5月24日(日)「城山観光ホテル」で開催。鹿児島・東京・大阪と持ち回りで開いてきた全体同窓会は今回が最後。クラスの間を誘い多数のご参加を! 相羽孝師

加高26期(昭和49年卒)

・記念の還暦同窓会を、本年7月2日(土)に霧島国際ホテルで開催予定。正式なご案内は8月頃。是非のご出席で盛會を期待。(代表幹事)大重伸一
TEL 090-8669-1182

加高27期(昭和50年卒)

・昨年度は3月21日、神田にて12名(女2名、男10名)参加。今年8月下旬の予定。多数のご参加を! (幹事)留守成人090-4394-8431 (サポート)有村優 080-6590-8095

〔関東龍門会〕(26年度) 事業報告

幹事長 前原澄雄 (昭43年卒)

〔活動報告〕

①平成26年度総会は6月7日(土)に会員151名、来賓5名(全員が卒業生)、賛助会員1名の総数157名が参加して開催されました。議事として会計報告、年度事業計画等を討議しました。
②26年度は、常任幹事会3回、臨時役員会1回、学年幹事会3回、会報編集委員会3回開催し、26年度の行事と会報発行を滞りなく遂行しました。
③会長の改革方針を具体化して取組み、その成果が徐々に顕れてきました。若手卒業生や幹事とのミニイベントでの交流呼び掛け、各同期会幹事へ回覧会と母校資料提供、各支部龍門会・郷土イベントとの横断的交流、会報誌掲載内容の充実化等で最も貴重な登録会員の裾の広げを推進してまいりました。その成果が会運営の根幹とも言える年会費・寄附金の増加に繋がりました。
④総会シーズン以外での役員全員での地道ながらも着実な活動が何とかな実を結び付き、ご協力会員には改めて深く感謝申し上げます。
同好会活動は囲碁同好会を新年と春季に計2回、ゴルフ同好会を春秋で計2回開催して会員親睦を深めました。詩吟同好会は3月下旬の春季吟詠会での成果発表を目指し、毎週木曜日に練習級練習を重ねながら日々の精進を重ねております。

◆年会費納入のお願い

関東龍門会の運営は会員皆様方の会費と寄附で賄われており、これらは主として会報制作費と発送費用に充当されております。何卒、年会費納入にご協力をお願い致します。
◆ご寄付への御礼とお祝い
毎年、会報および総会の席上で寄付金お申し出を承っておりますが、近年では例をみない17人の方に、賛同頂き、40万4千円の偉志を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。
今後も引き続き、当会の健全な運営のために、皆様のご更なるご支援をお願い致します。諸情勢厳しき折、誠に恐縮ですが本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。
なお、ご寄付に当りましては、1年会費振込用紙をご利用頂き、金額欄に会費と寄附金額を合計した額をご記入ください。また、従来通り総会時にもご寄付を承ります。

◆関東龍門会への入会促進と総会・懇親会へのご参加のお願い

関東龍門会の存在をご存知ない方やこの会報が届かない方がおられましたら、ご遠慮なく事務局へご連絡ください。
連絡先は
幹事長・前原澄雄 (TEL) 08015430174 88
副会長・山下憲男
副幹事長・西迫宏文
(林)ヒューマンウェア内 (TEL) 03152821751 4
事務局長・木佐木学 (TEL) 09012218153 8
また、ご出身地の郷土出身者懇親会や、知人・ご親戚の方で同窓生がいっぱいいらっしゃる上、是非とも呼びかけていただき、本総会・懇親会へお誘い合わせの上、多数が参加されるようお願いいたします。
なお、同期生や知人・ご親戚の同窓生で当会未登録の方に、当総会案内や懐かしい母校資料等を送付致します。ご希望される方は、幹事長・前原澄雄へご遠慮なくお申し付けください。

〈平成25年度 会計報告〉

(会計担当) 会計幹事 西迫宏文 (高55年卒・32期)

関東龍門会平成25年度(自平成25年4月1日~平成26年3月31日)

の収支実績は下表の通りです。

Table with 4 columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenditure), 予算 (Budget), 決算 (Actual). Rows include items like 前年度繰越金, 総会費, 年会会費, etc.

(注) 当会報による報告は、決算月日の関係上、平成25年度の会計報告です。26年度(平成26年4月1日~平成27年3月31日)の会計報告は、27年度総会(平成27年6月8日開催)に於ける承認を経て当会報28年度号(第41号)において報告します。

〈備考〉

- (1) 26年度総会は26年6月7日に開催。会員151名、来賓5名(全員卒業生)、賛助会員1名の合計157名が参加。上記報告は当総会において承認されたものです。
(2) 年会会費は振込手数料差引き後です。(25年度年会費納入者 365名)
(3) 寄付金 90口<寄付者氏名は当会報26年度号(第39号)に掲載済み>
(4) 印刷関係費は、会報、総会案内、往復ハガキ、送付用封筒、振込用紙等の費用です。

26年度寄付者ご氏名 (敬称略)

- <13年卒>吉満肇 <15年卒>橋本藤任 <19年卒>吉留和子
西園敏則 <20年卒>上園悟 三段隆 高橋渉 野元保輝
<21年卒>野中隆一郎 <24年度>小城忠行 濱田哲夫
<25年卒>今村彬 小濱嘉郎 高橋いづ子 森山耕二 山田英子
<26年卒>今吉孝夫 加治木正紀 川口菜三 酒匂昭男 城正之
徳田誠一郎 本田一 古川耕一 森田準之助 <27年卒>上西健司
窪田正視 新村敏郎 中村洋子 松元寛郎 <28年卒>井術美樹子
河野連 鶴田康 <29年卒>横山幸 松田正一 <30年卒>岩坪哲哉
小濱玲子 立山勲 外山勉 <31年卒>今村美千代 新村菊雄
藤崎節子 間世田寛幸 <32年卒>市来研志 肥後陽二 細川時子
<34年卒>上西康生 北井上紀代子 小久保紀光 白濱孝一
別府睦雄 松元典郎 満田泰幸 行村紀男 <35年卒>稲留節徳
鶴田親治郎 中山憲一郎 本田勝 松金瑛子 <37年卒>常盤毅
花田敦子 藤島義行 米増洋昭 <38年卒>関田平 徳田達己
<39年卒>相羽孝師 安楽弘美 柿元邦彦 河野正美 古川建雄
<40年卒>若本郁代 海江田裕 川口千鶴子 北野正英 堅山達一
藤崎マリ子 松下憲三 森山浩二 米満菊男 <41年卒>大串久美子
海田京子 北原源平 黒川幸治 小出千代子 萩原剛子 春田修
<42年卒>鎌田修 藤井豊幸 <43年卒>大久保令子 川久保やす子
重村博文 竹田茂隆 永元幸雄 宝蔵隆 前原澄雄 矢野雅子
<44年卒>岩井隆一 <46年卒>木佐木学 前田亮
<47年卒>加藤良子 佐々木真理子 米倉道代 <48年卒>井下修
大窪守 <49年卒>塩村朱美 松野下淳子 室屋輝美
<50年卒>有村優 <52年卒>金子智子 堀内由美子
<57年卒>大塚知彦 <58年卒>淵邊嘉彦 <60年卒>大槻瑞代
<63年卒>海江田健司
<賛助会員>会田渉 <母校教育振興会>同窓会本部

〈関東龍門会〉平成26年度 役員

(平成27年3月31日現在) ※ () 内は卒年

Table with 4 columns: 顧問, 参与, 会長, 副会長, 幹事長, 事務局長, 監事, 常任幹事, 学年幹事, 各事業担当責任者. Lists names and graduation years.



平成26年6月7日総会出席者 【敬称略、名字後ろの()は旧姓】

- <25年卒>今村彬 高城弘世 森山耕二 <26年卒>今吉孝夫 加治木正紀 柏木主計
上村逸夫 川口菜三 酒匂昭男 城正之 徳田誠一郎 永長隆徳 西田文雄 古川耕一
堀中清美 本田一 森田準之助 <27年卒>木佐木卓郎 餅原一隆 吉川悦郎
<29年卒>井上(原田)光子 榎谷惟光 永長隆房 <30年卒>岩坪哲哉 外山勉
長谷場純一 <31年卒>今村(梅木)美千代 大迫俊正 桑原光嗣 新村菊雄 杉田修
武田恵昭 藤崎(寺師)節子 堀之内学 間世田寛幸 村田良夫 山下重信 山下宗春
<32年卒>市来研志 <34年卒>朝倉正昭 別府睦雄 満田泰幸 行村紀男
<35年卒>稲留節徳 小城(山崎)道子 清水文暢 鶴田親治郎 中村(橋口)桃子
中山憲一郎 堀木昌弘 本田勝 松金 <36年卒>高橋(福永)ミチ子
<37年卒>桑原(西)昌子 佐藤郁子 長谷川圭一 日高昭 藤島(増田)義行
<38年卒>関田平 <39年卒>相羽孝師 内村覚峰 上村健二 河野正美 近藤幸一
立山優子 徳永正幸 永重郁雄 長島健一 馬場範門 福村道幸 妻鹿彬
<40年卒>海江田裕 垣内忍 北野正英 高橋光弘 堅山達一 徳吉正二 東原平
藤崎(徳田)マリ子 松下憲三 <41年卒>井ノ口弘 小濱(永治)洋子 北原源平
西郷宏 坂口(白尾)義子 比良田千利 福重利夫 藤井誠 藤崎博一 山下憲男
<42年卒>石川(石野)フサ子 國生幸一 <43年卒>重村博文 竹田茂隆 永元幸雄
前原澄雄 <45年卒>川井田信雄 中村信二 御室(緒方)裕子 壺園芳郎
<46年卒>池田修治 木佐木学 木瀬久幸 堅山幸男 田中昌之 中園悦朗 前田亮
吉永幸浩 若林(高山)凉子 <47年卒>梅橋嘉博 <48年卒>井下修
<49年卒>小倉(二本)裕子 最勝寺久尚 塩村(久永)朱美 田原孝志 徳富久也
堀之北(前原)かすみ 本間(笹峰)万里子 松野下(出村)淳子
<52年卒>金子(山下)智子 堀内(小野)由美子 <53年卒>小杉雅康 宮原絹子
<54年卒>伊丹光子 枝元真徹 大岩根正浩 北島(渋谷)妃登美 脇岡弘典 平田政子
本石隆紀 山口敦郎 <55年卒>西迫宏文 <58年卒>有川真由美 重田和博
北中(染川)理咲 中野広行 淵邊嘉彦 <59年卒>小倉聡 <60年卒>出田健代
吉村(外村)智子 <61年卒>久保裕 <63年卒>海江田健司 川原健一 多宝徹
牧野洋一 <平成元年卒>榎谷健一 <平成9年卒>浜崎寛士 <平成17年卒>今村邦之
早川恵理 <平成26年卒>仲充哲 林拓真
【来賓】 <同窓会会長>末永豊邦 (35年卒) <加高校長>森永忠秋 (49年卒)
<同窓会担当・加高教諭>安藤毅史 (平成元年卒) <近畿龍門会会長>村田好夫 (39年卒)
<鹿児島県・東京事務所>富窪和人 (59年卒) <賛助会員>会田渉

【編集後記】

この関東龍門会報も今年で発行40年になりました。年一回の発行として40年に亘る長い歴史の積み重ねの数字であり、會員・読者双方が、この「もの」を感懐する次第です。
◆号ではお祝い記念として、20歳代の社会人、未だ大学生というフレッシュな若手會員による座談会を行いました。その中での発言が、時代の流れ等からの変化、時代の流れ等からの変化、若い人が各種の会組織へ参加することが少なくなったという心配が伺えます。
◆また、紙面では紹介出来なかつたので、D会(現他校OB会)ではD会が現在の在校生が早くから組織的に結び付いていく様子。
これらの参考に当会もなるべく早いうちに若手會員導入に取り組みが必要かと思うこととです。

一編集責任者 前原澄雄 (昭43年卒)
号は左記の方が編集作業に携わりました。
松元典郎 鶴田親治郎
重村博文 相羽孝師
藤崎マリ子 西迫宏文
久保裕

〈関東龍門会〉は皆様の年会費で運営されています。年会費の納入をお願いします